

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	語尾に「・・・か」をつけ、入居者の意向を都度確認する取り組みが期待される。又、トイレ誘導は他者に悟られないように、さりげなくお誘いする取り組みを期待する。	日頃からの声かけの際に、命令ではなく選択できるような声かけや言い換えのマニュアルを活用した声かけを行う。	空間が狭い為、定時のトイレの声かけが必要な場合は、皆に聞こえる声ではなく、本人の耳元で伝えたりと周囲に気を付けながら誘導する。	2～3ヶ月
2	23	入居者の思いが込められた言葉(〇〇したい、〇〇が好き等)をより積極的に拾い上げて日々の記録に残し、介護計画に繋げる取り組みが期待される。	入居者の声(〇〇したい、〇〇が好き等)を介護計画に取り入れる。	1対1での空間を作り、日頃からの入居者の声(〇〇したい、〇〇が好き等)を記録に残す。	2～3ヶ月
3	26	より本人の思いに沿った計画となるよう、目標には入居者が発した言葉(〇〇したい、〇〇が好き等)をそのまま明示し、具体的な支援内容を作成される事を期待する。	介護計画の見直しとチームで情報を収集する。	1対1での空間を作り、日頃からの入居者の声(〇〇したい、〇〇が好き等)を記録に残し、チームでも情報を共有し、介護計画に繋げる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。